

市報

10 October
月号

No.1460

平成 28 年(2016 年)

- 第 15 回倉吉天女音楽祭 ……6
- 小学校適正配置シンポジウム
……………8~9
- 市民意識調査について ……12
- シナプロ韓国 ……22
- 月刊くらすけくん/人口 ……24

くらすし

KURAYOSHI city's Public Relations Magazine



全力で戦え、少年剣士たち
〜里見忠義公・八賢士顕彰剣道大会(8月28日(日))〜



くらすけくん

今月の特集：都会の人たちの第二の故郷として(2~5ページ)

ふるさと

都会の人たちの第二の故郷として

関金地区で行われている田舎暮らし体験。

多くの体験希望者が関金地区を訪れている中で、受け入れ側の農家やそれをサポートしている人たちの取り組みなどを紹介します。

問 観光交流課 ☎ 22-8158 / FAX 22-8230



多くの体験希望者が関金へ

倉吉市体験型教育旅行誘致協議会（大江博文会長）では関金地区で田舎暮らし体験希望者を受け入れる取り組みを平成19年から行っています。

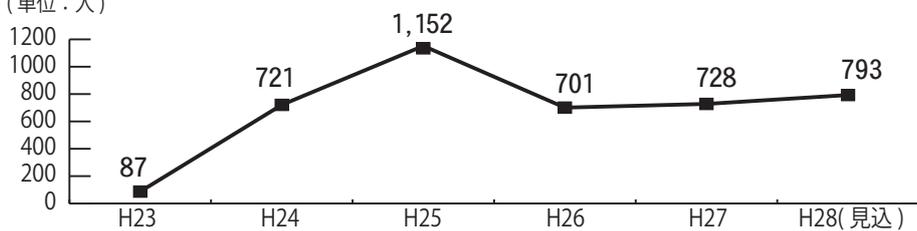
協議会では、体験希望者が興味や都合にあわせて体験プログラムを選べるようにと、受け入れ農家とともに「自然たいけんプログラム」、「農村生活たいけんプログラム」、「民泊たいけんプログラム」の3つのプログラムを整備。平成23年に約80人で



明高地区で民泊受け入れ農家をする
毛利輝雄さん(左)と毛利紀久子さん(右)

【田舎暮らし体験者数(延べ人数)の推移】

(単位:人)



あつた体験希望者は、平成25年には1,000人を超え、今でも毎年約700人が関金地区を訪れています。

受け入れ先の農家では

倉吉市体験型教育旅行誘致協議会では民泊体験を30軒の家庭で受け入れ、それぞれの家庭の普段の生活をそのまま体験できるメニューを提供しています。その中の1軒である明高の毛利輝雄さん・紀久子さん夫妻に話を聞きました。

―民泊受け入れを始めた理由

毛利 もともと農業委員をしてきたこともあり、集落の活性化についての意識はありました。私たちが暮らす明高地区では、ここ数年、人口減少や高齢化が進んでいます。若い人たち



が年々集落からいなくなっている中で、何か自分たちでできることはないかと思っていたところ、平成23年に農村体験や民泊受け入れの話をしたいただいたのが始まりです。

―やってみて良かったこと

毛利 私の家では民泊と野菜の収穫から出荷までの体験ができます。これは普段私たちがやっていることですが、この生活そのままの体験が都会の人たちにとっては貴重な経験になり、私たちが地元の人にとっては若い人たちと接することができる貴重な機会となります。

地元の美味しい米、野菜、空気、水や緑を存分に体験してもらって、集落の人たちも都会の人たちも共に元気になり、再び日常生活に戻ってもらうことが何よりの喜びです。また、体験したことをこれからの生活にも生かしていきたいとか、機会があればまた家族や友人と来たいと言ってもらえると、受け入れ農家をやっている本当に良かったと感じます。

―これからの抱負

毛利 これまで何十件もの受け

入れを行ってきましたが、その後何度か手紙をいただくことがあります。ここでの体験をきっかけとして交流が進み、将来、定住にまで繋がるのが集落の本当の活性化だと思います。そのためには私たちのような受け入れ農家を増やしていくことが必要だと思います。都会の人たちと集落の人たちの交流が深まり、都会の人たちの第二の故郷として、受け入れ農家ももっともっと増えて、若者がどんどんこの集落に集まり、再び活気が戻ることを期待したいです。

民泊体験者は

「こんな大きなすを見たのは生まれて初めてです」

そう話してくれたのは大阪市立茨田北中学校3年生の上村旭さん。上村さんたちは6人のグループは学校の修学旅行で毛利さん宅で民泊体験を行いました。1日目は夕食作り体験として、食材の準備から食後の後片付けまで毛利さんとともにを行い、2日目はなす、とうもろこし、枝豆などの野菜の収穫を体験しました。上村さんは「野菜収穫は初めて。始めは単純作



とうもろこしの収穫をする上村さん



なすの収穫を終えた生徒たち



収穫の説明を真剣な表情で聞く生徒たち

業でつまらないだろうと思っていましたが、出荷できる大きさのものを選別することや、収穫するときのはさみの使い方が難しく、農家の人たちの苦労がよく分かりました。また、とうもろこしの丸かじりも初めて

で、取れたての野菜がこんなにおいしいとは知りませんでした。大阪では経験できないことがいっぱいあったので機会があればまた来たいです」と友人と楽しげに話してくれました。

受け入れ農家のサポート

体験メニューづくりや体験受け入れのための農家との調整など、田舎暮らし体験を行うために必要な取り組みをサポートしているのが「倉吉市体験型教育旅行誘致協議会」です。

協議会設立から関わってきたコーディネーターの楠本博文さんに今後の課題などについて聞

きました。

―協議会の設立からこれまで

楠本 平成17年に倉吉市と関金町が合併をしたことを機に関金町に何ができるかを考えはじめました。そのときに、都会の学校では修学旅行で田舎に来る動きがあると聞いたため、関金でも受け入れ体制を整えられないかという思いから、平成19年に協議会が設立されました。

設立した当初は具体的なノウハウもなく、なかなか受け入れ体制を整えることができませんでした。

しかし、平成21年、22年に倉吉市からの委託でモニターツアーを受け入れ、その結果、平成23年に小学校1校(約40人)を受け入れることができました。その後、体験を希望する学校数が増え、平成25年には1,000人を超える受け入れを行うことができました。

―今後の受け入れ体制の整備

楠本 これまでには小学校を中心に宿泊を伴わない体験の希望が多くありましたが、近年は中学校を中心に宿泊を伴う民泊についての問い合わせが増えていきます。

平成30年6月には、1度に200人の受け入れを希望する相談を受けていますが、現在ある30軒の受け入れ農家だけでは対応しきれないのが現状です。今後も民泊希望者は増えていくと考えられますが、受け入れ先の農家の高齢化もあり、関金地区周辺での受け入れ体制の整備についても考えていかなければなりません。

普段の暮らしで受け入れる

す。しかし、田畑がないとできないわけではない。一緒に自宅でおやつ作りや家庭菜園をすることだけでも立派な田舎暮らし体験となります。

また、小中学生との接し方などについても、体験者は旅館やホテルのような対応は求めていませんので、親戚の子どもと接するように気軽に接していただき。時には叱ることがあってもいいと思います。

◀田舎暮らし体験をコーディネートする楠本博文さん。「受け入れ農家になるのは難しくありません。親戚を家に呼ぶような感覚で大丈夫です。受け入れの参加について気軽に相談をしていただければ」と語る。

【連絡先】
倉吉市体験型教育旅行誘致協議会事務局
(☎) 45-1122 / (☎) 050-3488-5653



【田舎暮らし体験メニュー】

自然たいけんプログラム

ツリーイング(ロープ1本での木登り)、大山池でのカヌー体験、用水路をボートで下る体験など、関金の自然を楽しみます。

農村生活たいけんプログラム

牛飼いや、そば打ち、わさび農家体験など、農家のくらしを短時間体験します。

民泊たいけんプログラム

実際の一般家庭に宿泊し、家族のようにふれあいます。



ツリーイング



もちつき体験



民泊体験

市内の他地区や県中部エリアでの受け入れ体制の整備も視野に入れており、それぞれのエリアとの連携や、エリアにおけるリーダー的役割を担う人材の確保が今後の課題です。

―受け入れは気軽にできるもの

楠本 受け入れ農家の確保が課題となる一方で、田舎暮らし体験と聞けば「田畑がないからできない」とか「小中学生とどう接してよいか分からない」など不安な要素は多々あると思います。

私たちにとっては何気ない普段の暮らしでも、都会の人たちにとっては、自然や人との触れ合いが十分魅力的なものです。

受け入れ農家になることで、子どもたちの声が家に響き、地域で笑いながら遊んでいる姿が再び見られるようになれば、地域の人も元気になり、いつまでもそこで生き生きと暮らしていくことができるのではないのでしょうか。

受け入れ農家になることは、難しいことではなく、サポート体制も整っています。

受け入れ農家への参加を考えてみてはいかがでしょうか。



早いもので、15回目を迎える記念すべき「倉吉天女音楽祭」、本当に嬉しく思います。16年前に倉吉市から新たな音楽祭開催の企画相談、総合プロデューサー任命の話をいただきスタートさせた倉吉天女。単なるプロのコンサートではなく、子どもから大人まで地元の音楽家が中心のコンサートで、時にはプロとの共演で刺激を受け、普段は別々に演奏活動している人たちが年に1回は一緒になって音楽を奏でる場、発表の場として開催し、倉吉の音楽レベル向上と、倉吉から世界に出て行くミュージシャンが誕生することを願ってここまでできました。

最初の頃は自分の想いとは異なり、自分たちのやっている音楽に自信が無いのか、何となく、仕方なく音楽祭に出演してあげている感が伝わってきて、正直5年続けばいいかなと思っていましたが、年を重ねる毎に、音楽に向き合う姿勢、自分たちの作り上げてきたベストな演奏を来場者に届け、感動を共感するという思いに変わってきて、年々、良い音楽祭になり定着してきたと思っています。

今年は記念すべき節目の音楽祭として、倉吉天女音楽祭吹奏楽団ほか、地元の音楽団体はもちろん、自分のバンド「Hit&Run」のメンバーを引き連れ、ゲストヴォー

カルに天才的な歌唱力を誇る「ギラ・ジルカ」を迎え、音楽祭を盛り上げます！皆さんの聴きなじみのある曲、懐かしい曲をさまざまな演奏スタイルでお届けしますので、ご家族、おじいちゃん、おばあちゃん、隣近所の人、皆さんで是非！遊びに来てください。

最後に、音楽を通じて倉吉市から鳥取県内、日本全国へ倉吉市が行っている「天女音楽祭はすごい！」と言われるくらいまで、この音楽祭が20回・50回・100回と続くことを願っております。

イエ〜っ!!

MALTA
I Love
MUSIC



MALTA
(Sax奏者、倉吉市観光大使、倉吉天女音楽祭総合プロデューサー)

第15回 倉吉天女音楽祭

☎倉吉天女音楽祭実行委員会(観光交流課内) ☎22-8158 / FAX22-8230

とき 10月23日(日) 午後3時~5時40分

ところ 倉吉未来中心大ホール

▶▶▶第1部

和太鼓 ^{レジェンド} LEGEN童

聖テレジアこども園

中部少年少女合唱団 ^{みらい} M I R A I

MALTA & 倉吉天女音楽祭吹奏楽団

▶▶▶第2部

MALTA ^マ Hit ^ヒ & ^ヒ Run ^ヒ with ^ヒ Geila ^ヒ Zilka ^ヒ

▶▶▶入場料

前売り 大人800円(当日1,000円)

大人ペア券1,500円(前売りのみ)

高校生以下無料 ※整理券が必要



節目の年はスペシャルに

記念すべき15回目の節目を迎える今年は2部構成です。第1部は地元で活動する団体が演奏し、第2部はスペシャルステージとして、MALTAさんが自身のバンド“Hit&Run”のメンバーを

引き連れ倉吉に帰ってきます。そして、ゲストヴォーカルにスバル・レヴォーグのCMで話題の歌姫ギラ・ジルカを迎えます。



ゲストヴォーカル
ギラ・ジルカ

チケット取り扱い…倉吉未来中心、はとや楽器、トミヤ楽器店、ピーワイヨシダ、パープルタウン、米子コンベンションセンター、とりぎん文化会館、観光交流課、チケットぴあ(Pコード:306708)

ちくわメニューつくって!

めう!

～ちくわメニュー提供店舗を募集しています～



倉吉打吹まつりでは23店舗でちくわメニューが提供されました

「ひなビタ♪」との連携イベント「^{もみじ}くらよし紅葉まつり♪」が、11月12日(土)、13日(日)に開催されます。

イベント時に倉野川市の名物「ちくわ」を使用したオリジナルメニューを提供する店舗を募集します。(各店舗において提供していただきます。)

【申込方法】

店舗名、メニュー案(名称、金額、料理の説明など)を明記し、電子メールまたはファクシミリで観光交流課へ申し込んでください。

【申込締切】10月14日(金)

※使用するちくわの種類・メーカーは問いません。

申請 観光交流課(☎22-8158 / ☎22-8230 / 📧kankou@city.kurayoshi.lg.jp)

ポクにもできるかな?

観光交流課さま

店舗名 くらすけくん
メニュー名 ちくわ〇〇〇
メニューの金額 500円
料理の説明 おいしいよ。



みんなで倉野川音頭を踊ろう!

くらよし^{もみじ}紅葉まつり♪

とき 11月12日(土)、13日(日)

ところ 赤瓦・白壁土蔵群周辺

当日は、倉野川音頭踊り大会、ひなビタ♪グッズショップ、スタンプラリーなどを開催します。

倉野川音頭振り付け動画公開中!



ひなビタ♪倉野川音頭振り付け動画をYouTubeの倉吉市チャンネルで公開しています。
皆さんが動画を見て、振り付けを覚えてね!



市民シンポジウム「倉吉市小学校適正配置の推進」について

今後の小学校適正配置について具体的な取り組みを進めていく中で、市民の皆さんとともに考えを深めていこうと、8月9日(火)に倉吉未来中心小ホールを会場に市民シンポジウムを開催しました。

統合した関金小学校の報告に続き、PTAや各種団体代表などが、それぞれの立場から意見交換を行いました。

☎学校教育課(TEL)22-8166 / FAX22-1638

山下 市全体で「将来、どんなま
ちにしたいか」を考えないといけ



なかだ あけみ
中田 朱美さん
鳥取県中部教育局長

中田 学校の適正配置の目指す
ところは、「少子化に対応した活
力ある学校づくり」ということ。
学校統合、あるいは小中一貫
校、小規模校の存続など、選択肢
は複数あり、また、保護者や地域
の方々の思いや考えもさまざまだ
と思う。
何よりも「時代を担う子どもた
ちにとつてどうか」ということが
大切になってくる。
「子どもたちが楽しく充実した
学校生活を送る」ということを真
ん中にして考え、皆さんで議論し
検討していただきたい。

子どもたちを真ん中においた議論を――中田
大人・子どもが互いに地域をつくる努力を――山下
地域を、学校を、本当に大切と思っているか――美田
課題解決に向け、大人が議論する必要がある――高橋
2校の児童がともに取り組む風景に感心――笠原

美田 地域の衰退と学校を繋げ
て考えるのは違うと思う。私はこ

ない時期に来ている。
大人一人一人の力を子どもたち
の未来のために、子どもたち自ら
も地域のために、お互いが力を発
揮できる努力を今からしていかな
いといけないと思う。
人を呼び込める体制や、もつと
魅力ある地域にしていかなければ
ならない。
学校でなくとも拠点となりうる
場所はあるはず。むしろ学校とい
う型にはまらないで自由な発想で
地域力をパワーアップさせていく
ことが今後の社会では重要になる
のではないかな。



ちゆき
山下 千之さん
倉吉市学校教育審議
会委員

新関金小学校 1学期のあゆみ

関金小学校は、「心豊かでたくましくとも
に高めあう子どもの育成」という教育目標
で開校した。『安心して元気に生活できる新
しい学校づくり』を第一に考え、学ぶ意欲、
確かな学力の育成、ふるさとに学ぶ教育活動
の推進を学校経営の大きな柱にしている。

切磋琢磨する場面増える

児童体育祭の練習の中で、人数が増えたこ
とによって、児童が切磋琢磨する場面が多く
見られ、一生懸命に練習に励んでいた姿が印
象的だった。

地域の伝統を再び

運動会では、山守小学校がずっと踊り続け
てきた関金地区伝統の「関金温泉小唄」を、関

金小学校で20数年ぶりに復活し、児童、保
護者、地域の方がみんなで踊る賑やかな運動
会となった。

新しい歴史をつくっていく

一瞬一瞬を大切に、子どもたちと色々な活
動をして新しい歴史をつくっていく、そうい
う舞台に立っているの
だと感じながら、1学期
を終えることができた。

1年間、地域・保護者
の意見を聞き、修正しな
がら学校運営を行い、来
年度の取り組みにつな
げていきたい。



関金小学校
藤山 正明 校長

将来を担う子どもたちのため 適正配置協議会で議論を…



高橋 義博さん
倉吉市子ども会育成
連絡協議会代表

高橋 速やかに小学校適正配置協議会を立ち上げ、学校統合に向けての課題などを協議する必要がある。その中で、さまざまな課題も出てくる。その方策などを検討

地域も学校も本当に大切だと思
う気持ちがあれば、もっと本気で
取り組み、学ぶ場へ出ていくべき
である。賑やかしだけの地域再生
はないと思う。

「学校がなくなると地域が廃れ
る」という人も、「子どもの友人が
少なくて可哀想だから再編に賛成
だ」という人も根っこは同じで、
どこか他人任せで、自分からは何
も動かない人だ。たとえ動いたと
しても自分本位、自己満足、自己
顕示欲の塊になっていないか。



美田 龍一さん
保護者代表

の適正配置の問題に際し衰退の原
因を垣間見た気がした。

良かつた点では、旧山守小児童
が行っていた子供歌舞伎に、統合
によって旧関金小児童も参加した
ことがあげられる。
初めてのことで心配していた
が、児童が一生懸命に取り組んで
いる練習風景を見て良いことだと
感じた。

笠原 統合後の実感として衰退
を感じるに至っていないが、地区
の健康診断の場所が変更され、バ
ス送迎が実施されたように、今
後、こうした変化は増えてくると
思う。



笠原 治さん
旧山守小学校保護
者代表

していくことになるが、そこで解
決できないければ準備委員会に移行
できないこともある。協議会は、
住民としっかり課題を協議するこ
とが前提の会であるべきと思う。
課題を先送りしては、将来
の倉吉、子どもたちにとって何も
ならないので、将来を担う子ども
たちのために、大人である私たち
がしっかり議論する必要があると
思う。



伊藤 哲雄さん
元倉吉市教育委員会
教育委員長

伊藤 誰でも自由に自分の気持ち
が話し合える場を各地域でつく
り、当該地域で協議会を立ち上げ
てもらい、何が問題なのか出して
いかなければ、小学校適正配置計
画は進まない。

コーディネーターから

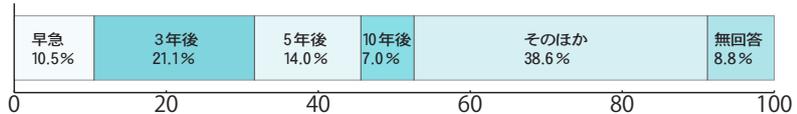
協議会を立ち上げ、それに参加
してもらい、その後に合意点を見
出し、学校統合準備委員会を充足
させ、具体的なものになっていく
と思う。
あくまでも地域の方々と教育委
員会とが話し合いをしながら進め
てほしい。
答申が出されてから4年経つ。
まとめていく時期が来ていると思
う。本日の話や今後のことも含め
て、いま出されている推進計画を
進めてほしい。

事務局より

今回の参加者は73人。会場で実施したアンケートには57人からの回答が寄せられました。アンケート回答の約80%が50代以上であり、若い世代の参加が少なかったようです。

アンケート集計

■学校統合を推進する場合、何年後の開校をめざしていくべきだと思いますか



■今後の倉吉市小中学校適正配置の推進方法について



《新1年生の就学時健康診断を行います》

平成29年4月に小学校へ入学するお子さんの健康診断を、それぞれの学校で行います。

☎ 学校教育課(☎22-8166 / ☎22-1638)

【健康診断日程】

小学校名	とき	受付開始	開始	小学校名	とき	受付開始	開始
上北条	11/ 9 (水)	13:30	13:40	社	10/26 (水)	13:20	13:35
河北	10/12 (水)	13:00	13:20	北谷	11/10 (木)	13:05	13:30
西郷	10/19 (水)	13:30	13:45	高城	10/27 (木)	13:30	13:45
上灘	10/31 (月)	13:30	13:45	小鴨	11/ 4 (金)	13:00	13:20
成徳	10/27 (木)	13:10	13:30	上小鴨	10/25 (火)	14:00	14:15
明倫	10/31 (月)	13:15	13:45	関金	11/ 1 (火)	13:45	13:55
灘手	10/27 (木)	13:50	14:00				

平成29年4月に小学校へ入学するお子さんの就学時健康診断を各小学校で行います。

10月上旬までに、対象となるお子さんの保護者へ通知書を送付しますので、受診をお願いします。

通知書が届かなかつたり、通知書に記載された小学校で受診できない場合は、学校教育課に連絡してください。

【対象児】
平成22年4月2日生まれ～
平成23年4月1日生まれ

《平成27年度倉吉市健全化判断比率と資金不足比率》

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものです。

☎ 財政課(☎22-8163 / ☎22-1087)

【平成27年度倉吉市健全化判断比率】

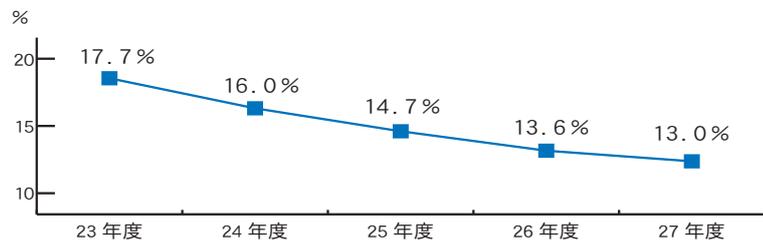
(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	— (- 5.19)	— (- 11.75)	13.0	117.8
早期健全化基準	12.83	17.83	25.0	350.0

※実質収支または連結実質収支が黒字の場合は、実質赤字比率または連結実質赤字比率は、「—」で表示。

※()内は、実質黒字または連結実質黒字の比率を負の値で表示したものです。

【参考：実質公債費比率の推移】



◀ 実質公債費比率は、平成23年度決算以降、地方債を発行するときに、県準許が必要な基準である18%を下回り、財政の健全化が進んでいます。

地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、毎年度、健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を、その算定資料とともに監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表しています。

平成27年度、倉吉市において、早期健全化基準を超えた健全化判断比率はありません。倉吉市の財政は健全で、順調に運営しています。

用語の解説

【健全化判断比率】

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの比率

▼ 実質赤字比率

一般会計などの赤字の年収に対する割合

▼ 連結実質赤字比率

全会計の赤字・資金不足額の年収に対する割合

▼ 実質公債費比率

一般会計などが負担する実質的な公債費の年収に対する割合

▼ 将来負担比率

一般会計などが将来負担する債務の年収に対する割合

早期健全化基準を超える団体は「財政健全化計画」を策定する必要があります。

【資金不足比率】

公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する割合

《第5回山上憶良短歌賞作品を募集します》

「家族」をテーマに短歌作品を募集します。

申 市立図書館(〒682-0816 駄経寺町187-1 / TEL 47-1183 / FAX 47-1180)



【応募方法】

「家族」をテーマとした短歌を応募用紙に書き、必要事項を記入したうえで、市立図書館へ郵送または持参してください。

専用ホームページからも応募できます。

【応募規定】

- ①どなたでも応募可能。
- ②未発表の作品とし、一人1首とする。
- ③受賞作品の使用権は、倉吉市に帰属するものとする(無償)。
- ④受賞者は表彰式に出席することとし、受賞作品および児童生徒は学校・学年・氏名、一般は居住市町村・氏名を公表する。

【応募部門】小学生の部 / 中学生の部 / 高校生の部 / 一般の部

【賞】各部門 憶良賞1首、入選5首、佳作10首

【募集締切】11月30日(水)まで

【表彰式】平成29年3月26日(日)(予定)

【応募先】市立図書館(〒682-0816 駄経寺町187-1 / TEL 47-1183 / FAX 47-1180)

※応募用紙などは、市立図書館のほか、各地区公民館に置いてあります。また、市ホームページから印刷することも可能です。

古代の倉吉は、伯耆の国の政治・経済・文化の中心地であり、家族の歌を多く詠んだことでも知られる著名な万葉歌人・山上憶良が国司として赴任していました。

市ではこれにちなみ、山上憶良短歌賞を開催しています。

憶良の赴任1300年を迎える今年、全国の皆さんから作品を募集します。



《宝くじ助成金で防災資機材を整備しました》

整備した資機材を有効に使い、さらなる防災力の向上を目指します。

問 防災安全課(TEL 22-8162 / FAX 22-1087)



ワンタッチテント



組み立て式リアカー



災害救助用毛布

和田自主防災会が防災資機材として、ワンタッチテント、組み立て式リアカー、災害救助用毛布、ポータブル水洗トイレ、投光器などを整備しました。

これは、自主防災組織の活動を推進し、地域の防災力向上を図るため整備したものです。

広告募集申!! 倉吉市総合政策課
(TEL 22-8161 / FAX 22-8144)

TOHO
東宝ストア

新町店 22-6281
ロータリー店 22-2971
西倉吉店 28-0121
由良店 37-4572
米田店 23-6111
河北PLAZA 26-8080

Ajiso
新あじそう

パール店 26-1121
ハワイ店 35-3431



お寿司やおさしみ
盛り合せ
ご予約
承ります。

2016年新市町村振興宝くじ

オータムジャンボ 5億円
1等前後賞合わせて
1等: 3億円 前後賞各1億円

発売期間 9/26(月) ▶ 10/14(金)
抽せん日 10/21(金)

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

1枚 300円 売り切れしだい発売終了
(公財)鳥取県市町村振興協会

- 眼精疲労 ○肩こり ○時々ものが2つに見える
- 読書、勉強に集中できない ○遠近両用メガネが使えない
- 大型免許、二種免許の深視力検査が通らない

両眼視機能を考慮した総合的視力測定で
両眼の視線のズレ、見方のクセ、ストレスの原因を調べ、
質の高い「見える」メガネをお作りします。

眼球運動 / 両眼視機能測定・ビジョントレーニング

岩間眼鏡店

営業時間 あさ9時~よる7時(木曜定休)
倉吉市鍛冶町 Sマートめいりん店内

電話 0858-22-5551 (ご予約優先)

平成28年度市民意識調査結果の公表について

問 総合政策課 22-8-16-1

市では、市民の皆さんの生活実態や問題意識、市の取り組みなどの満足度などを把握し、今後の市政運営の参考とするために、アンケート「市民意識調査」を毎年5月頃に実施しています。今年度行った調査では、市内在住の20歳以上の人のの中から無作為に選んだ2,500人を調査対象とし、1,154人に回答いただきました。アンケートにご回答いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

市民意識調査の結果については、市ホームページに掲載しています。



調査の概要

【調査対象】市内に住む20歳以上から無作為抽出した2,500人

【調査方法】郵送などによる配布・回収

【調査期間】平成28年4月29日(金)～5月31日(火)

【有効回答数】1,154(有効回答率46.16%)

- 【調査内容】
- ①回答者の属性
 - ②日常生活について
 - ③子育てについて
 - ④地域における暮らしや人権について
 - ⑤生活環境について
 - ⑥市が提供する情報と行政サービスについて
 - ⑦地域の活動について

性別	対象数	回答数
男	1,193	476
女	1,307	665
無回答	-	13
合計	2,500	1,154

年齢	対象数	回答数
20～29歳	277	80
30～39歳	362	121
40～49歳	393	154
50～59歳	397	181
60～69歳	532	298
70歳～	539	309
無回答	-	11
合計	2,500	1,154



回答
ありがとう～

調査の自由記載欄に記入いただいたご意見などの中で、特に件数の多かった項目や、最近話題となつている項目について、市の取組や状況などをご説明します。

倉吉市は税金が高額だと思ひます

税金の高い・安いには個人差がありますので、税率について説明します。

個人住民税は、国の定めた標準税率6.0%を採用していますので、県内の自治体での差はありません。

固定資産税は、自治体の規模や財政状況などのさまざま事情により自治体間で差があります。中部4町に比べると0.1%高い税率ですが、県内4市では同じ税率1.5%です。

問 税務課 22-8-1-4

近い将来に統廃合を行う予定の学校を、建て替えたリ改修したりするのはなぜでしょうか

近年、大規模な地震が発生しているなか、地震災害から子どもたちを守らなければなりません。また、学校は地域の避難所

として、災害時に安全に使用できる状態にあるべきです。市では、子どもたちの安全を第一として、学校の耐震化と統廃合議論を切り離して考えています。

地震はいつ発生するかわからないものであるため、耐震性のない学校すべての耐震化を、国の補助制度を活用しながら進めています。

問 教育総務課 22-8-1-5

倉吉には空き家が多いと感じます。空き家を何かに活用できないでしょうか

空き家は、移住者などの受け皿として活用する予定です。

今年度、市内全域で空き家実態調査を実施しており、活用が可能な空き家については、所有者の意向をふまえて、活用していきたいと考えています。

問 地域づくり支援課 22-8-1-5-9

中心市街地ばかり活性化の取組をしているように感じます。中山間地の支援にも力を入れてください

中山間地域と中心市街地それぞれに必要な機能を持たせていくことが重要です。そのため、

中心市街地活性化基本計画を作成し、計画の実行に取り組みとともに、中山間地域についても、地方創生を推進する中で行政と地域が一体となつて地域振興に取り組んでいます。

問 総合政策課 22-8-1-6-1

子育て支援を充実させてほしいです。例えば、多子世帯やひとり親世帯に何か支援がありませんか。また、より分かりやすい情報発信をお願いします

子育て支援の充実に関しては、重点的に取り組んでいます。多子世帯や、ひとり親世帯への支援として保育料などの経済的負担の軽減、また、ひとり親家庭の自立支援策として、就業に関する資格取得に対する支援や児童の学習支援などを行っています。一人一人の困りごとに沿った支援をご案内しますので、お気軽にご相談ください。

また、情報発信については、市報、メール配信サービスの充実やホームページでの分かりやすい情報提供を実現するため、職員の意識改革や情報技術の向上に取り組んでいきます。

問 子ども家庭課(直通) 22-8-1-0-0、(家庭支援係直通) 22-8-2-0

～倉吉梨選果場初出荷セレモニー～
秋の味覚が日本各地へ
8月20日(土)

倉吉の秋の味覚の一つである二十世紀梨の初出荷セレモニーがJA鳥取中央倉吉梨選果場(秋喜)で行われました。福山巖^{いわお} JA鳥取中央代表理事組合長は「今年の梨は天候の影響もなく糖度、玉太りとも良好。オリンピックにちなんで販売額でも金メダルが取れるよう期待したい」とあいさつ。その後、二十世紀梨を載せたトラック2台が出発し、参加者は打吹童子ばやしの太鼓の演奏とともに見送りました。二十世紀梨を皮切りに、さまざまな種類の梨の出荷が12月まで続きます。



～第31回倉吉せきがね里見まつり～
関金小学校児童が見事に演じました
9月4日(日)

倉吉せきがね里見まつりが旧山守小学校体育館で地元住民や全国の里見一族などを招き開催されました。まつりは関金保育園園児による踊りで幕が開け、里見時代行列の入場、せきがねリーディングの会による朗読、子供歌舞伎などのステージイベントが行われ、八賢士太鼓愛好会の荘厳な演奏でその幕を閉じました。小学校統合後初めてとなる子供歌舞伎のステージには、山守地区以外の児童も参加しており、舞台を見事に演じ切ると、会場からは大きな拍手が送られました。



～敬老の日記念事業表敬訪問～
いつまでもお元気で
9月14日(水)

敬老の日を前に、今年度市内で100歳を迎える人を石田耕太郎市長が表敬訪問しました。今年度100歳を迎える人は市内に26人あり、訪問したそのうちの1人、杉本秋蔵^{あきぞう}さん(上福田)は「長生きするために特別何かやっていることはないが、好き嫌いなく何でも食べ、テレビを見たり愛犬と遊ぶことが楽しみ」と元気な様子で話していました。家族は「身の回りのことはほとんど自分でできるし、朝晩の散歩も自分で行く。いつまでも元気で長生きしてほしい」と話していました。



遊休地の有効活用を“太陽光発電”で!!

借ります 300坪～

遊ばせておくのは、もったいない!!

遊休地 大募集

株式会社 エナテックス 倉吉市海田西町2-37
☎ 28-1111 www.enatex.co.jp

創業大正二年
人形のたいら



人形のたいら

検索

倉吉市西町2708(野島病院裏となり) ☎0858-22-2391

家族の想いが届く...



広告募集!! 倉吉市総合政策課
TEL 221-8161 FAX 221-8144

50周年記念 青少年育成鳥取県民大会

あの子もこの子も地域の宝

ひと声かけて育てよう

青少年の健全な成長を願い、健全育成に向けた県民運動を推進する青少年育成鳥取県民大会が開催されます。

日 10月23日(日)

午後1時～午後4時15分

【受付・開場】午後0時半

所 倉吉未来中心 小ホール

【内容】打吹童子ばやし演奏、関金子供歌舞伎DVD上映、講演、少年の主張鳥取県大会最優秀賞受賞者による発表、青少年育成功労者顕彰・表彰など

【講演】「子どもの明るい未来の創造」

【講師】村井琢哉さん(NPO法人山科醍醐こどものひろば理事長)

問 生涯学習課(☎22-8167/☎22-1638)

Kセンターのリサイクル 感謝デーが開催されます

古紙(新聞・雑誌・段ボール)10kg、または、牛乳パック10枚ごとにトイレトペーパー1個と交換します。

日 10月23日(日)

午前8時半～11時半

所 倉吉資源リサイクル事業協同組合「Kセンター」(小田)

問 Kセンター(☎26-3343)

倉吉市戦没者慰霊祭に ご参列を

第63回倉吉市戦没者慰霊祭を開催します。

多数のご遺族、市民の皆様のご参列をお願いします。

日 10月13日(木)午後1時半～

所 倉吉未来中心小ホール

問 福祉課(☎22-8118/☎22-7020)

お知らせ information

10月は3R推進月間です 資源を大切にしましょう

資源を大切にすると3Rとは…

R educe(リデュース)
物を大切に使い、ごみを減らすこと

R euse(リユース)
使える物は繰り返し使うこと

R ecycle(リサイクル)
ごみを資源として再び利用すること

買い物にはノーレジ袋を意識しマイバッグを使う、分別による資源化でごみを減らすなど、私たちの暮らしの中で、できることから始めましょう。

問 環境課(☎22-8168/☎22-8136)

里親制度をご存じですか

10月は「里親を求める運動月間」です。

問 子ども家庭課(☎22-8220)

里親制度とは

子どもが健やかに成長するためには、安定した家庭環境の中で、保護者の温かい愛情のもとに育てられることが望まれます。

しかし、やむを得ない事情で、家庭で生活できない子どもたちがあります。そんな子どもたちを、保護者に代わって、一時的に、あるいは継続的に、家庭的な雰囲気の中で、愛情深く育てる人を里親といます。

里親の種類

【養育里親】保護者がいない子どもも、保護者のもとでの養育が不当と認められる子どもを養育する里親です。

【親族里親】子どもの祖父母など、扶養義務者やその配偶者がなる里親です。

※ただし、実父母が死亡、行方不明、拘禁、入院や疾患などで養育できないなど、やむを得ない事情がある場合に限定されます。

【専門里親】虐待などにより、心身に有害な影響を受けた子どもや非

行、障がいのある子どもを養育するための専門的な知識や技能、経験を持つ里親です。

【養子縁組里親】養子縁組により、養親となることを希望する人が、初めは里親として子どもを養育します。

里親になるには

里親になるために、特別な資格は必要ありませんが、研修を受講していただくなど、いくつかの要件があります。

望まれることは、子どもが大好きで、健康的で明るい家庭であることです。

詳しいことが聞いてみたい、里親になってみたいとお考えでしたら、次の機関にお問い合わせください。

里親支援機関「里親支援とっとり」	☎0857-22-4221
倉吉児童相談所	☎23-1141
福祉相談センター	☎0857-23-6080
米子児童相談所	☎0859-33-1471
児童家庭支援センター「くわの実」	☎24-6306

10月16日(日)はごみゼロ全市一斉清掃にご参加ください

問 環境課(☎22-8168/☎22-8136)

市営住宅入居者募集

Recruiting the residents
to municipal houses

申問 建築住宅課(TEL22-8175/FAX22-8140)

【募集期間】10月3日(月)～7日(金)／【入居可能日】11月24日(木)
【抽選日】10月26日(水)／【抽選会場】市役所第2会議室(本庁舎3階)
【募集住宅】※申し込みが複数の場合は抽選

種類	住宅名	部屋番号	間取り	家賃	戸数	駐車場
市営	八幡町住宅	223号	2階/2DK	17,300～34,100円	1戸	1台
	上余戸住宅※メゾネット	227号	2階/3DK	27,900～54,800円	1戸	1台
	みどり町住宅	203号	2階/3DK	23,300～45,900円	1戸	1台

※メゾネットとは、室内が2層に分かれており、内階段でつながっているタイプの住宅です。

【入居基準の所得】①各種控除後の世帯の所得が、月額158,000円以下
②高齢者、障がい者、子育て世帯などについては月額214,000円以下
※証明書などが必要

除雪オペレーターを募集します

冬の積雪時に市道の通行を確保するため、市所有の除雪車を運転するオペレーターを募集します。

【雇用期間】12月1日(木)～平成29年3月31日(金)※積雪による除雪日が勤務

【応募資格】除雪機械の運転免許有資格者

※大型免許または大型特殊免許と車両系建設機械運転技能講習修了証を持つ人

【募集人員】若干名

【勤務場所】倉吉市内

【除雪機械】除雪トラック2台、ロータリー除雪車1台、除雪ドーザ2台

【申込期限】11月2日(水)

【申込方法】履歴書と免許証の写しを建設課に提出してください。

【選考方法】面接

※業務内容などの詳細については建設課にお問合せください。

申問 建設課(TEL22-8169/FAX22-8179)



募集 collect

産業人材育成センター 10月開講コース受講募集

コース	定員	受講料	締切
パワーポイント基礎科	15人	2,400円	10/12(水) 正午
3次元CAD科②	10人	9,600円	10/26(水) 正午

※受講料のほかにテキスト代が必要です。

※日程など詳細はお問い合わせください。

問 鳥取県立産業人材育成センター倉吉校
(TEL26-2247/
FAX26-2248)



フォーラム in くらよし2016 一男女共同参画推進講演会— めざせ!イクメン・イクボス ※入場無料

だれもが性別にかかわらず、共に認め合い、互いに支え合う「男女共同参画社会のまちくらよし」の実現をめざして、開催します。

日 10月22日(土)午後2時～4時/所 倉吉交流プラザ視聴覚ホール

【講演】「子どもの未来にワクワクするために、父親にできること」

講師:篠田厚志さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン関西理事長)

【パネルディスカッション】なぜイクメン・イクボスなの?

～仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けて～

問 人権局(TEL22-8130/FAX22-8135)

10月31日まで 秋の農作業安全運動期間

農作業安全は各々の地域から—
地域ぐるみで事故を防ごう



秋の農繁期は、農作業事故が発生しやすい時期です。

事故の多くは不注意や不慣れによるものです。集落や家庭など、身近な場面で安全啓発を行いましょ。

秋の重点注意事項

- ①体調管理に気をつけ、体調が悪いときは無理せず休養をとりましょう。安全第一で余裕をもった作業計画を立てましょう。
- ②道路を走行する農業機械には、夜間の追突事故を防止するため、「低速車マーク」や「反射テープ」を装着しましょう。
- ③機械作業を行う際には、トラクターの安全キャブ・フレームの利用やシートベルトの着用など事故への備えを行い、死亡事故を防止しましょう。
- ④集落内の危険な場所や作業を点検し、危険個所のマーキングや作業の注意点を地域ぐるみで確認しましょう。

問 農林課(TEL22-8157/FAX23-9100)

10月7日(金)は児童手当の支払い日です

問 子ども家庭課(TEL22-8100/FAX22-7020)



災害時協力井戸を募集します

～あなたの井戸がきっとみんなの助けになる～

地震などの災害で水道の給水が停止したときに、不足しがちな生活用水(トイレ・洗濯・掃除などに使用する水)を、所有の井戸から無償で提供していただける協力者を募集します。

■登録にあたり井戸水を無料で検査します。※条件により、検査実施できない場合もあります。

【申込受付開始日】10月3日(月)から

申 問 防災安全課(☎22-8162/☎22-1087)



災害時には協力できる範囲で井戸を開放し、周辺住民の生活用水として活用していただきます。

募集 collect

青少年の森整備事業作業ボランティア大募集!

春に行われた整備作業の様子



市では、上北条地区振興協議会「青少年の森」整備事業実行委員会との協働により、小田山の保全と利活用を行っています。

保全活動の一環として、実のなる樹木広場周辺で、雑木の片付け、周辺の草刈を行うにあたり、作業に協力をしていただけるボランティアを広く市民の皆さんから募集します。

作業終了後には、上北条地区の皆さんの協力により軽食が用意されます。

日 11月12日(土)午前9時半～
※作業は2時間程度。小雨決行。

※雨天の場合は、午前8時半以降に伯耆しあわせの郷(☎26-5581)へお問い合わせください。

所 伯耆しあわせの郷駐車場集合
※集合後、遊歩道を散策しながら広場まで行きます。

持 カマ、軍手、飲み物、雨具など
問 総合政策課(☎22-8161/☎22-8144)、または上北条公民館(☎26-1763)

催し event

倉吉学講座「古代の木製祭祀具について」

倉吉文化財協会では、奈良・平安時代の祭祀をテーマに倉吉学講座を開催します。

万葉歌人山上憶良が伯耆守として倉吉へ赴任してから、今年で1300年。当時の役所などで行われていた祭祀の方法やその意味について、実際に遺跡から出土した木製祭祀具から講演いただきます。

日 10月2日(日)午後1時半～3時

所 成徳公民館

【演題】「古代の木製祭祀具について」

【講師】下江健太さん(鳥取県埋蔵文化財センター文化財主事兼係長)

料 参加無料

問 倉吉文化財協会事務局(文化財課内☎22-4419)

県指定保護文化財 鳥飼家住宅一般公開

江戸時代中期の農家建築で、県民の建物百選に選ばれている鳥飼家住宅を一般公開します。

日 10月16日(日)

午前10時～午後4時

所 鳥飼家住宅(関金宿1570番地3)

料 参加無料

問 文化財課(☎22-4419)

好評につき追加募集!
木造住宅無料耐震診断

【対象となる住宅】

次の①～⑤をすべて満たすもの

①市内に建築されているもの

②木造の一戸建て住宅

③昭和56年5月31日以前に工事着工され、以降に増築していないもの

④述べ床面積が220㎡以下、階数2階以下のもの

⑤在来軸組構法、枠組壁構法または伝統的工法のいずれかで建築されたもの

※プレハブ工法や丸太工法などは対象外

【耐震診断の内容】

目視による建物外部・内部の調査や、既存の図面を基に、住宅性能を診断する「一般診断法」

【耐震診断を行う技術者】

市が委託した民間建築団体に所属する建築士

【募集戸数】先着5戸程度

【募集締切】12月28日(水)

申 問 建築住宅課(☎22-8175/☎22-8140)



秋の行楽期に交通事故を起こさないために

秋の行楽期は、交通量が増え、日没時間も早くなり、夕暮れどきや夜間に重大な交通事故が発生しやすくなります。

歩行者、自転車に乗る人、車を運転する人、それぞれが交通ルールや交通マナーを守って、交通事故を起こさないようにしましょう。

倉吉淀屋イベント 文化の秋を文化財で

邦楽演奏会

打吹三曲邦楽会の協力を得て、
箏と尺八の演奏会を開催します。

日 10月23日(日)午後2時～

わた 綿から綿へ

民具を使って糸紡ぎの体験を行
ないます。染織作家により伝承さ
れる技術をお楽しみください。

日 11月3日(木・祝)
午前10時～午後3時

倉吉絣展示会

倉吉絣保存会の協力で、倉吉絣
の解説、展示販売を行います。

日 11月5日(土)～8日(火)
午前9時～午後5時

【共通】

所 倉吉淀屋 / 料 参加無料

問 文化財課(☎22-4419 / ☎22-
2303)、倉吉淀屋(☎23-0165)

倉吉文化財協会員募集 秋の文化財めぐりに参加しませんか

倉吉文化財協会では、年数回の
研究発表会、会誌『文化財だより』
の発刊、『文化財めぐり』などを中
心に活動しています。郷土「倉吉」
のことをもっと知ってみたい人、
歴史に興味がある人など、ご入会
をお待ちしております。

秋の文化財めぐり

「じっくりめぐる湯梨浜の文化財」

普段は立ち入ることのできな
い、江戸時代の作庭とされる尾崎
氏庭園や、全国的にも希少価値の
高い灘蔵である橋津藩倉などを専
門家の案内で巡ります。

日 11月13日(日)午前8時半集合
【募集人数】先着20人

【申込期限】11月7日(月)
※詳細はお問い合わせください。

申 倉吉文化財協会事務局(文化財課内)
☎22-4419 / FAX22-2303)

出合いサポーター (ボランティア)募集!

県が設置する「えんとりー(とつ
とり出合いサポーターセンター)」で
は、結婚を希望する男女の1対
1の引き合わせ(マッチング)の
支援をするボランティア「出合い
サポーター(以下サポーターと表
記)」を募集しています。

【サポーターの役割】

・えんとりー会員同士の引き合わ
せを安全安心に行うための立ち
会いと交際フォロー

【サポーターの具体的な活動内容】
・引き合わせの日程調整と立ち会
い、引き合わせ後や交際中の
フォローなど

【サポーターの主な認定要件】
・結婚支援に熱意があり、サポー
ターの役割を理解していること
・携帯電話などでメールやイン
ターネットが使用できること
(通信料金などは自己負担)
※面接などにより適当と認める者であり、
サポーター研修を受講すること
※サポーターの任期は原則1年ですが、研
修受講により継続も可能です
※引き合わせに同席の際は、交通費とし
て1回あたり1,000円を支給します。

☎ tenty@dnrecon.net

申 問 (社)鳥取県法人会連合会え
んとりー(とつとり出合いサポーター
センター)鳥取センター(鳥取市本
町2丁目123 三井生命鳥取ビル
1階 / ☎0857-13015151 /

出合いを求
める二人の
キューピッド
役を募集!



気軽にご相談を

10/17～23は行政相談週間

●合同行政相談所

日 10月21日(金)午後1時～4時
所 倉吉未来中心小ホール
※弁護士による相談は要事前予約
問 鳥取行政評価事務所(☎0857-24-
5542)総務課(☎22-8112)

●行政相談所

【関金会場】高齢者生活福祉センター
日 10月28日(金)午後1時～3時
問 総務課(☎22-8112)

●くらし農家相談会

日 10月19日(水)午前9時～午後3時
所 市役所北庁舎会議室
問 農林課(☎22-8157)、または農業委
員会事務局(☎22-8171)

●市民生活相談窓口

生活全般の相談窓口です。
問 地域づくり支援課(本庁舎3階 / ☎22-
2717)

●多重債務・法律相談会 ※要事前予約

日 10月21日(金)午後1時半～4時
所 倉吉未来中心
問 中部消費生活センター(☎22-3000)

●司法書士による無料法律相談会

日 10月25日(火)午後4時～6時
所 倉吉未来中心セミナールーム4
※前日までに要予約
申 問 鳥取県司法書士会(☎0857-24-
7024)

●県弁護士会による無料法律相談会

日 10月19日(水)午前10時～午後3時
所 鳥取地方・家庭裁判所倉吉支部
問 鳥取県弁護士会(☎0857-22-3912)

●日曜労働相談会 ※予約優先

労働問題全般の相談に応じます。
日 10月30日(日)午前10時～午後3時
所 倉吉未来中心
問 労使ネットとつとり(県労働委員会
☎0120-77-6010)

●暮らし・経営なんでも相談

困りごと、トラブル、企業経営、
各種手続きなどの相談に応じます。
日 10月22日(土)午前10時～午後4時
所 米子コンベンションセンター
問 中国税理士会米子支部事務局
(☎0859-32-4795)



地域若者サポートステーション講演会

～さまざまな困難を抱える若者が働くことへの

一歩を踏み出すヒントを共に考える～

日 10月22日(土)午後1時半～3時半 ※受付午後1時

【講演】「自分らしい生き方」って？～働くことに一歩を踏み出すヒント～

【講師】田中俊英さん(一社)office^{としひで}ドーナツ^{オフィス}トーク代表)

所 県立体育文化会館 中研修室

問 とっとり若者サポートステーション(TEL/FAX0857-21-4140)
よなご若者サポートステーション(TEL/FAX0859-21-8766)

産業人材育成センター&建設技術センター「まつり」

～入校相談、木製小物作り、屋台村、働く車体験など～

日 10月23日(日)午前10時～午後3時

所 産業人材育成センター、建設技術センター

問 産業人材育成センター倉吉校(福庭町2丁目 TEL26-2247)、
建設技術センター(福庭町2丁目 TEL26-6051)

第14回 山の祭り / 第39回 住宅デー

～木工教室、木工品の製作、住宅相談、展示販売など～

日 10月23日(日)午前10時～午後3時

所 倉吉パークスクエア

問 県中部森林組合(TEL22-6622)

笑顔つながる 福祉の里文化祭～おかげさま～

日 11月5日(土)午後1時～4時

所 福祉の里周辺みのり福祉会施設

【内容】子どもみこし、作品展示、スタンプラリー、
バザー(おこわ、豚汁など)、無料コーナー(おぼけ屋敷、骨密度測定など)、抽選会ほか

問 福祉の里文化祭実行委員会(みのり大山内TEL29-5438)

ふるさと再発見 お散歩ウォーク

伯耆国の中枢であった社地区に残る文化財を見て歩き、山上憶良がやってきた時代の倉吉に思いをはせてみませんか。※先着120人 ※雨天決行

日 11月5日(土)午前9時～午後3時 ※受付午前9時まで

所 社小学校集合・解散

料 参加費500円(昼食代・保険料含む)

申 問 倉吉ライオンズクラブ事務局(TEL24-6881/FAX24-6882)

コミュニティプラザ百花堂 展覧会・展示会

開催日	催事内容
10/13(木)～18(火)	仏像彫刻第19回作品展
10/20(木)～24(月)	いにしはずま 井西静馬つづれ画展
10/27(木)～11/1(火)	なんばけいいち 南場兄一個展

問 コミュニティプラザ百花堂(TEL22-6811)

EVENT INFORMATION

まちのイベント

ライオンズ奉仕デー 倉吉駅周辺清掃

～一緒に駅をきれいにしませんか?～

日 10月2日(日)午前9時～11時 ※集合午前8時半

所 エキパル倉吉 多目的ホール集合

問 倉吉グレートライオンズクラブ(TEL26-6119)

アミティエ・フェスタ

～しつけ教室、譲渡説明、保護動物とのふれあいなど～

日 10月9日(日)午前10時～午後2時 ※悪天候時変更あり

所 人と動物の未来センター・アミティエ

※詳細はホームページをご覧ください。

問 (公財)動物臨床医学研究所(TEL26-0851)



第20回 絣会作品展

～絣の着物、帯、草木染、オリジナル作品を展示～

日 10月14日(金)～16日(日)午前9時～午後5時

※16日は午後3時半まで

所 赤瓦2号館「手織工房 くらよし絣」(東仲町)

問 鳥取短期大学絣会(TEL26-9138)

第4回 セキガネ温泉手づくり文化祭

～地元特産品を使った食事、手作り雑貨、足湯など～

日 10月16日(日)午前10時～午後3時

所 関金温泉街周辺

問 しゃあまけ笑会(楠本TEL090-6432-2967)

第20回 服部 秋の収穫祭

日 10月16日(日)午前9時～11時半

所 服部ふれあい広場

【内容】即売コーナー、模擬店、大根収穫体験コーナー

問 城内(TEL28-5119)、馬場(TEL28-5094)

きぼうまつり

～イベントステージ、フリーマーケット、野菜の販売など～

日 10月22日(土)午前10時～午後2時半

所 希望の家(みどり町)

問 社会福祉法人希望の家(伊田・藤本TEL22-2978)

第26回 倉吉和紙ちぎり絵展

～風景・花・小鳥などを和紙で自由に表現しています～

日 10月21日(金)～24日(月)午前10時～午後5時

※24日は午後4時まで

所 エキパル倉吉 多目的ホール

問 倉吉和紙ちぎり絵サークル(船木TEL23-0096)

倉吉市文化活動センター 指定管理者：倉吉文化団体協議会

住吉町77-1 (TEL/FAX 23-6095)

【利用時間】火曜日～土曜日：午前9時～午後10時
日曜日：午前9時～午後5時

【休館日】月曜日 ※会議室、音楽室、調理実習室など貸出あり

■モーニングシネマ(無料)

開催日	時間	タイトル
10月11日(火)	10:00～	2001年宇宙の旅
10月18日(火)		裏窓
10月25日(火)		天使にラブソングを

■リフレギャラリー(無料)

アトリエやまと10周年記念展 日10月1日(土)～13日(木)
写遊「創造」写真展 日10月15日(土)～11月12日(土)

倉吉スポーツセンター 指定管理者：ミズノグループ

葵町591-1 (TEL 22-5674 / FAX 22-5684)

【利用時間】午前8時30分～午後10時

■参加者募集

イベント名	対象	開催日など	参加費
とび箱教室 ※定員各10人	幼児 小学生	10月9日 (日) 10:00～11:30 13:30～15:30	1,000円
陸上クリニック ※定員20人	小学5-6年生、 中学生	10月15日 (土) 13:00～15:00	1,000円

■大会などの予定(10月)

市営武道館

29日(土)、30日(日)	県高等学校柔道新人大会
---------------	-------------

スポーツセンター体育館

16日(日)	市民体育大会ラージボール卓球競技
--------	------------------

市営体育センター

9日(日)	市民体育大会バウンスポール競技
10日(月・祝)	市民体育大会フットサル競技

市営ラグビー場

9日(日)	全国ジュニアラグビー大会中国地区1次予選会
16日(日)、23日(日)、 30日(日)	県ラグビーリーグ

市営射撃場

10日(月・祝)	市民体育大会クレール射撃競技
29日(土)	射撃納会大会

指定管理施設からのお知らせ

伯耆しあわせの郷 指定管理者：旭ビル管理株式会社

小田458 (TEL 26-5581 / FAX 26-5633)

【利用時間】午前9時～午後8時【休館日】月曜日

■受講生募集

教室名	開催日など	定員	受講料
Café風ごはんて lunch ! 「ハンバーガーほか」	10月15日(土) 10:00～13:00	先着 24人	550円

※10月4日(火)から受け付け開始。

※受講料のほかに材料費が必要です。

市営庭球場

7日(金)、8日(土)	県中学校総合体育大会中部地区予選大会
10日(月・祝)	市民体育大会ソフトテニス競技
29日(土)、30日(日)	県高等学校ソフトテニス新人戦大会

市営陸上競技場

2日(日)	日本海駅伝競走大会・くらよし女子駅伝大会
10日(月・祝)	市民体育大会倉吉マラソン大会
22日(土)、23日(日)	県民スポレク陸上大会・会長杯陸上大会
28日(金)	ミズノ杯グラウンドゴルフ大会
30日(日)	成徳地区グラウンドゴルフ大会

市営野球場

1日(土)	石田紙器杯 市学童軟式野球大会
7日(金)	県中部地区中学校新人戦軟式野球大会
8日(土)、9日(日)	市学童軟式野球秋季大会
10日(月・祝)	市民体育大会壮年野球競技

市営関金野球場

2日(日)	石田紙器杯 市学童軟式野球大会
-------	-----------------

市営関金テニスコート

10日(月・祝)	市民体育大会テニス競技
----------	-------------

市営関金多目的広場

7日(金)	中学校体育連盟サッカー新人戦大会
-------	------------------

広告募集中心!! 倉吉市総合政策課
TEL 22-8161 / FAX 22-8144

相談無料・秘密厳守

知的財産に関すること、何でもご相談ください。

特許等無料相談会開催いたします。(13:00～16:00)

倉吉商工会議所 (倉吉市明治町) (0858) 22-2191

10月金 7
10月金 21
11月金 4
11月金 18

鳥取県知財総合支援窓口

(独)工業所有権情報・研修館事業

倉吉市立図書館 (倉吉市駄経寺町) (0858) 47-1183

10月火 4
10月火 18
11月火 1
11月火 15

鳥取県知的所有権センター

(公財) 鳥取県企業振興機構 知的所有権センター (社) 鳥取県発明協会

〒689-1112 鳥取市若葉台南7-5-1 (0857) 52-5894



各種会席膳・パック膳
血盛・お寿司・おさしみ
折詰・弁当・お節料理

よしだ屋 有限会社

お料理 仕出し

～有料広告募集中～

【大きさ(縦×横)】

1号：5cm×18cm
2号：5cm×9cm
3号：5cm×6cm

【掲載料】

1号：30,000円/回
2号：15,000円/回
3号：10,000円/回

ご予約は 倉吉市越中町2095-1
TEL 0858-22-2759 / FAX 0858-23-6385

Examination **検診・健診** **保健センター**
 (TEL)26-5670 / (FAX)26-5660

集団健診の日程

とき	ところ	内容
10月 19日 (水)	上小鴨公民館	特定健診・長寿(後期高齢者)健診・一般健診・がん検診(胃・肺・大腸・前立腺)・肝炎ウイルス検診・物忘れ相談 ※小鴨公民館では特定健診はありません。がん検診(子宮・乳)があります。
10月 31日 (月)	小鴨公民館	

【受付時間】午前8時～10時
 ※75歳の誕生日以降は特定健診を受けられません。長寿健診の受診券を発行しますので、保健センターに連絡してください。

レディース検診のご案内 ※要事前申込

とき	ところ	内容
10月 26日 (水)	倉吉市役所	がん検診(子宮・乳)

【受付時間】午後1時～1時半
申保健センター

Healthcare **健康づくり** **保健センター**
 (TEL)26-5670 / (FAX)26-5660

心とからだの健康相談 ※保健センターに要予約

日 10月25日(火)午後1時半～3時半

所 保健センター

献血(全献血)にご協力ください

日 10月30日(日)午前9時半～正午、午後1時半～3時

所 倉吉未来中心

鳥取県赤十字血液センター ☎0857-24-8101

倉吉市民健康づくり ～市民ならどなたでも！～

【内容】歯と口についての各種相談、歯科健康診断、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口体験

日 10月30日(日)午前9時～11時半

所 (一社)鳥取県中部歯科医師会口腔衛生センター

持 タオル、母子健康手帳(乳幼児のみ)

中部歯科医師会口腔衛生センター ☎22-5472

「こころの健康と飲酒」について考えてみませんか？

お酒は適量を楽しく飲めば、ストレスの解消や人間関係の円滑化に大変有効です。

しかし、多量のお酒を長期間飲み続けると、体の健康を損なうだけでなく、睡眠障害やうつ病など、こころの病気にも密接につながっていきます。

精神保健福祉普及運動の一環として、こころの健康と飲酒について、わかりやすい内容の本やパネルなどの展示を行います。

日 10月18日(火)～25日(火)

所 市立図書館

福祉課 ☎22-8118 / FAX22-7020

Prevention&Care **介護予防とケア** **長寿社会課**
 (TEL)22-7851 / (FAX)22-2954

10月の認知症の人と家族の会「家族の集い」

【関金会場】所 倉吉市高齢者生活福祉センター

日 10月6日(木)午前10時～正午

【倉吉会場】所 成徳公民館

日 10月20日(木)午前10時～正午

10月ホッといきいき教室～介護予防教室参加者募集～

日 10月28日(金)午前10時半～午後3時

【内容】(午前)さらに輝く「プラチナ世代」

講師：中川康江さん(鳥取看護大学准教授)

(午後)自由時間

所 グリーンスコーレせきがね

料 1,400円(昼食・入浴料)

【募集条件】65歳以上で、介護認定を受けていない人

※1週間前までに要申込。送迎希望の人は送迎します。

※欠席するときは必ず前日までに連絡してください。



10月は乳がん月間です

乳がん罹患率は年々増加傾向にあり、日本人女性の12人に1人がかかるといわれています。

しかし、乳がんは早期発見・治療によって、ほかのがんと比較して治る可能性が圧倒的に高いがんといわれています。乳がんの早期発見には、2年に1回のがん検診(視触診検査とマンモグラフィ検査の両方)が有効です。各地区集団検診や医療機関で実施されています。また、乳がんは自分で見つけることのできる数少ないがんのひとつです。乳がん検診に加えて、月に1回、乳房のセルフチェック(自己触診)を心がけましょう。

セルフチェックをしてみましょう	①上半身を鏡に映し、乳房を観察する	②手を上下し、形の変化などを見る
③しこりがないかをよく触れて確認する	④乳頭からの分泌や湿疹などを調べる	⑤あおむけに寝て、よく触れてみる

第2回心も体も元気になる講演会

日 10月24日(月)午後1時半～3時

所 成徳公民館

【内容】認知症予防と口の健康講座

【講師】市認知症地域支援推進員、歯科衛生士

保健センター(☎26-5670)

 **Baby&Mother**  保健センター(伯耆しあわせの郷内) **母子保健**  26-5670 /  26-5660

乳幼児健康診査【受付】午後0時50分～1時15分

【6か月児】平成28年4月誕生	11月1日(火)、2日(水)
【1歳6か月児】平成27年4月誕生	11月9日(水)、11日(金)
【3歳児】平成25年10月誕生	11月4日(金)、8日(火)

所 保健センター / 持 母子健康手帳、アンケート用紙
※3歳児健診のみ尿検査があります。

フッ化物歯面塗布(無料) ※未就学児対象

日 10月13日(木)【受付】午後1時半～3時

所 / 申 中部歯科医師会口腔衛生センター

持 歯ブラシ、タオル、母子健康手帳

申 中部歯科医師会口腔衛生センター(TEL 22-5472)

離乳食講習会【内容】離乳食について(講義編)

日 10月26日(水) 受付時間：午前9時半～10時

所 / 申 保健センター

マタニティサロン(妊婦の交流・相談の場)

【内容】ミニセミナー「お口の健康～歯磨きレッスン」

日 11月4日(金) 午前10時～11時

所 子育て総合支援センター「おひさま」

申 保健センター

育児相談(身体測定・子育て・栄養・歯科相談)

日 10月27日(木) 午前9時半～11時半

所 保健センター / 持 母子健康手帳

 **Play&Bred**
子育て総合支援センター「おひさま」イベント

おひさまキッチンスタジオ「秋のおやつ作り」

日 10月19日(水) 午前9時45分～正午

所 集合：子育て総合支援センター「おひさま」

会場：上灘公民館調理室

【対象】離乳食完了期以上の子どもと保護者

【講師】子ども家庭課 谷口志保 栄養士
保健センター 大濱弘美 栄養士

持 エプロン、三角巾、お茶、スプーン、フォーク

【申込期限】10月12日(水)

※託児が必要な場合は申し込んでください。ただし、人数に制限があります。

申 子育て総合支援センター「おひさま」(TEL / FAX 22-3914)

ファミリー・サポート・センター(ファミサポ)

提供会員養成講座



「ファミリー・サポート・センター(ファミサポ)」は子育ての手助けが欲しい人(依頼会員)と手助けをしたい人(提供会員)とが行う有料の子育て支援サービスです。

提供会員は、子どもが好きで、心身ともに健康な20歳以上が対象です。あなたも子育て中の家族を応援しませんか。

子育てについての専門知識を学ぶ養成講座を開催します。

日 10月25日(火) 午前10時～午後5時10分

11月4日(金) 午前10時～午後4時半

所 子育て総合支援センター「おひさま」

申 子育て総合支援センター「おひさま」(TEL / FAX 22-3914)

 **Immunization**
保健センター **予防接種** (TEL 26-5670 / FAX 26-5660)

B型肝炎予防接種のご案内

B型肝炎予防接種が定期予防接種に追加されました。対象者には通知を送付しますが、接種期限が短期間の人もありますので、通知内容を確認し、早めに受けましょう。

【対象】生後1歳まで ※平成28年4月1日以降生まれの人

料 無料

インフルエンザ予防接種費用の助成を行います

インフルエンザ予防接種費用の助成を2月28日(火)まで行います。助成対象者には通知を送付しますので、通知内容を確認し、接種を受けてください。

■定期予防接種■

【対象】①満65歳以上の人

②満60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に日常生活を極度に制限される程度の障がいをもつ人

料 接種費用4,140円のうち1,840円を助成。

※市民税非課税世帯・生活保護世帯は無料

■任意予防接種■

【対象】①幼児(平成27年12月31日までに生まれた人)

※満1歳未満の乳児が接種した場合は、接種後に還付。

②小学1年生～満65歳未満で、身体障害者手帳1級・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aを有する人

料 1回1,600円助成(満13歳未満は2回助成)

※接種費用は医療機関によって異なります。

※助成対象者で、市民税非課税世帯、生活保護世帯の人は自己負担金を還付します(上限2,000円)。請求期限は平成29年3月31日(金)です。

接種券・助成券を使わずに接種を受けた場合や還付など、詳しくはお問い合わせください。





早わかり朝鮮時代②

前回に引き続き、朝鮮時代(1392〜1910年)について説明します。

約500年続いた朝鮮時代は、総勢27人の王様がいました。王様には、それぞれ諱(ミヨホ)と廟號(ミヨホ)という二つの名前があり、今回はそれにまつわるお話をします。

■諱(ミヨホ)
王様が誕生したときにつけられる名前を意味します。ただし、王様の名前は、勝手に呼んだり書いたりすることが禁止されており、これを避諱(ヒビイ)といいます。

そのため使用禁止になる漢字が増えないよう、王様の名前には、あまり使われていな

い漢字一文字を使いました。ドラマ「イ・サン」でおなじみの「サン(禰)一や、ハンゲルを創造した世宗大王の「ド(禰)」が諱です。

■廟號(ミヨホ)

王様が亡くなった後、位牌に書き込む名前のことを意味し、イ・サンは後に「正祖」に、世宗大王の「世宗」が後につけられた廟號です。廟號には次のような特徴があり、新しく王朝を立てた王様を「太祖」、初代に続き偉大な業を成し遂げた王様を「太宗」、その後制度や文物を完成させた王様を「成宗」とつけます。そのため、朝鮮時代はもちろん、その前の高麗時代にも同じ廟號を持つ王様がいました。

王様の二つの名前の中で、一般的になじみのあるのが廟號で、韓国の中高生は27代にわたる王様の廟號を一生懸命に暗記します。

■宗と祖と君

廟號の最後には、宗・祖・君という漢字がきます。それぞれ意味があり、先代の王

様の嫡子で、王位が継承された場合に、宗がきます。

それに対し、嫡子の王世子(次期王様候補)でない人が王様になった場合、祖という漢字がきます。しかし、この区別も中期以降になると、偉大な業を成し遂げた王様に祖を、王様として仁徳のあった王様に宗をつけるようになりました。また、廃位された王様に付けられる君は、格下げのものです。

その時々王様は一人しかいないため、いつも王様としか呼ばれていない王様たち。諱と廟號という呼ばれることのない称号をどう思っていたのでしょうか。

●今月の一言
「손님」왕이다.
お客様は王様である。



▲朝鮮時代の王様の廟號が記された位牌がまつられている宗廟。

鳥取看護大学
鳥取短期大学

第46回シグナス祭開催！10月22日(土)、23日(日)

君の青春レポリビューション☆そんな鳥看・鳥短ファンタスティック!!

今年テーマには、学生はもちろん、訪れた人の青春に革命を与えるほどの大学祭にするという熱意を込めています。

多彩なステージ発表や各大学の展示・室内企画、バンドやタレントによるライブ、模擬店の出店を予定しています。

鳥取看護大学・鳥取短期大学が一体となり、協力して行うこのシグナス祭を地域のみならず、ぜひお楽しみください!!

問 学生課(☎26-11811)

■看護大・短大 入試説明会
10月22日(土)、23日(日)
午前10時〜午後2時
※時間内自由参加
問 入試広報課(☎26-9171)

■ホームカミングデー(同窓会)
10月22日(土)
正午〜午後1時
※受付午前11時半

※とりたんキッチン(学内食堂)総務課(☎26-11811)
※駐車場に限りがあります。なるべく公共交通機関や無料スクールバス(倉吉駅5番バスのりば)発、時刻は要問い合わせをご利用ください。



シグナス祭実行委員会のみなさん

今日のもちの保健室 問 鳥取看護大学(☎27-2800)

10月19日(水)午後1時半〜3時半(受付午後1時〜)

所 鳥取看護大学 1階 交流ホール

【内容】体脂肪・血圧・血管年齢(要予約)先着7人・骨密度の測定、健康ミニ講話「こぼで心のリフレッシュ」

Library 市立図書館

市立図書館(TEL 47-1183 / FAX 47-1180)
せきがね図書館(TEL / FAX 45-2523)

【今月のイベント】

山上憶良創作演劇「憶良の翼」

倉吉市を拠点に活動する社会人アマチュア演劇グループ「劇創西社OHKUS」が、山上憶良を主人公にした演劇公演を行います。

1300年前の伯耆国の様子を史実をふまえ、現在と結びつけた創作演劇です。

日 10月30日(日) 開演①午後2時30分
②午後6時30分

※どちらも同じ公演を行います。

所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

【定員】各回120人 / 料 参加無料(要整理券)

保護者向け読み聞かせ講演会
「メディアと子どもと読み聞かせ」※要申込・無料

日 10月23日(日) 午前10時～11時半

所 倉吉交流プラザ 第1研修室

「元気!はつらつ!音読教室」※要申込・無料

日 10月20日(木) 午前10時半～11時半

所 倉吉交流プラザ 第1研修室

労働セミナー
「ホウレンソウで築く(気づく)職場のコミュニケーション」

日 10月12日(水) 午後1時半～午後3時

所 倉吉交流プラザ 第1研修室 / 料 無料

問 鳥取県中小企業労働相談所みなく(TEL 23-6131)

「行政書士相談会」※申込不要

日 10月16日(日) 午前10時～午後2時

所 倉吉交流プラザ 第2研修室 / 料 無料

問 行政書士会事務局(TEL 0857-24-2744)

交流プラザ第2研修室の無料相談会 ※要申込

特許等無料相談会	10月4日(火)、18日(火) 午後1時～4時
ビジネス情報相談会	10月19日(水)午後1時～3時
こころの相談日	10月20日(木)午後2時～4時
起業・経営なんでも相談会	10月23日(日)午後1時～5時

10月の開館日
カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
休館日: 3日, 11日, 17日, 24日, 31日 資料整理休館日: 27日							1
○おはなしかい(11:00～) 倉 ◇あちゃんのおはなしかい (10:30～) 倉	2	3	4	5	6	7	8
□むかし話をきく会(11:00～) 倉 △おはなしかい(10:30～) 関	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

Museum 倉吉博物館

問(TEL 22-4409 / FAX 22-4415)

自然ウォッチング⑨「秋の植物を見よう」

打吹山は標高204m、スタジイやヤブツバキなどの常緑樹を主とした植生で、四季を通じて散策を楽しめる山です。



打吹山

山頂にはこのあたりではあまり見かけない樹木のアサダが見られます。紅葉には少し早い時期かもしれませんが秋の草花を探しましょう。

日 10月23日(日) 午前9時半～11時半

所 倉吉博物館正面玄関前集合

※申込・参加費不要

美術所蔵品展 日 10月15日(土)～11月6日(日)

「新収藏品展」

昨年以降に美術部門で新しく収蔵した作品を紹介します。

郷土の作家である生田和孝、高木啓太郎、米本一郎や、ジョルジュ・ルオーの版画の代表作《ミセレーレ》、野田哲也、中林忠良の版画を展示します。人間国宝・大坂弘道作品の今年度5回目の展示も行います。



ジョルジュ・ルオー版画
《MISERERE》より

菅楯彦と倉吉

幼時に鳥取を離れた菅楯彦は、明治29年、18歳のときに一人で倉吉を訪れ、大阪から倉吉までの道中や大原に滞在中の出来事を絵日記に遺しています。

今回の展示では、絵日記や菅楯彦が市内河原町の小川家に疎開していた折に描いた作品など、倉吉と関わりのある作品を展示します。

10月の展覧会

第9回菅楯彦大賞展 10月10日(月・祝)まで



10月の休館日

3日(月)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)



松戸市との交流はこれからも

～千葉県松戸市との交流事業を探る～

松戸市ってどんなまち

松戸市は千葉県の北西部に位置する人口約49万1千人の市です。市の中心部の松戸地区は、古くから水戸街道の宿場町として栄えていました。長らく東京近郊の農村地域でしたが、近年では東京のベッドタウンとして発展しており、千葉県内では千葉市、船橋市に次いで居住人口は3位となっています。



二十世紀梨と佐渡ヶ嶽部屋

倉吉市と松戸市は、平成12年から国内交流(都市間交流)事業に取り組んでいます。

交流のきっかけは、松戸市から導入されて、現在は倉吉市の一大特産品となった「二十世紀梨」と、倉吉市出身の元横綱琴櫻が松戸市に「佐渡ヶ嶽部屋」を構えていたことです。

平成13年には、多くの松戸市民を迎えて鳥取二十世紀梨記念館のオープンングセレモニーを行ったほか、小学生による交流や松戸まつり(倉吉市と鳥取県の特産物の販売への参加も始まりました)。

平成16年には、二十世紀梨が鳥取県に導入されて100周年を迎えたことから、「松戸市民劇団」と倉吉市の「市民影絵劇団みく」が両市を会場とし、合同公演を実施しました。さらにこの年には、「梨の実交流宣言」を行い、ますますの交流促進を誓いました。

交流事業が始まって16年

松戸市との交流事業が始まって今年で16年が経ちます。

8月17日(水)〜19日(金)には小学生交流が実施され、農家民泊や自然体験を通して倉吉市について学び、交流を深めました。また、10月には松戸市で毎年開催される「松戸まつり」へ参加し、倉吉市の特産品の販売を行います。

現在の取組みが将来、子どもたち同士の繋がりを深めるきっかけとなったり、事業者がさまざまな分野へと交流を広げるきっかけとなることを期待し、これからも国内交流事業は進められます。

●倉吉市の人口●

(住民基本台帳)

男	22,929人 (+ 24)
女	25,558人 (- 6)
計	48,487人 (+ 18)
20,663 世帯	(+ 18)

(H28.8.31現在)

編集後記

皆さん見てください。左欄の倉吉市人口に「+」が！しばらく見ていなかった人口増に何だか少し嬉しくなりました。(E・M) 里見まつりの子供歌舞伎。控え室の子供達は少し緊張した様子でしたが、堂々と八犬士を名乗る姿はカッコよかったです。(H・I) 大阪の中学生が畑で野菜収穫体験をした時の表情が印象的でした。自然の前では誰もが素直な気持ちになれるのかな。(K・F)

すっかり仲良くなってるナ〜

